

ShareHW 開発背景と技術的目的

サービス開発背景

昨今共働きの世帯が増え、『家事というものを従来の誰か特定の一人が家事をする』という考え方から『みんなです』というように変化しつつある。また、家事というものはなかなか目に見えにくくその大変さが顕在化しにくいという面があり、それがもとでトラブルを生むケースもある。

そこで、家事を可視化させ誰がどのくらい普段労力を使っているのかをお互いに把握しあうことで、その労力をより公平化したり日頃の感謝を伝えるきっかけを作るといった目的で本アプリを作成する。

テーマ（概要）

【サービス名】

ShareHW（Share House Works）

【概要】

- ・誰がどの家事を担当するかをリスト化してそれを共有・管理する
- ・進行状況をチャートでも可視化し、わかりやすくする
- ・チャット機能を使って互いに意思疎通をとれるようにする
- ・家でよく使う商品をリスト化しておき、買い物時にメーカー名や種類等を確認できるようにする

【セールスポイント】

- ・進行状況を中心にチャートで可視化することで、何をやればいいかを一目でわかるようにする
- ・一つ一つの家事に対して家事ポイントによって重みをつけることで、より正確に家事の負担率を反映する
- ・その日の天気に合わせて家事を提案する

技術的目的

- ・ToDoリスト及び絞り込み検索機能を実装し、Laravelについての理解を深める
- ・天気APIを導入し、APIの実装について慣れる
- ・CSS・JSフレームワーク・ライブラリ（Tailwind CSS等）を導入して理解を深める
- ・一連のアプリ制作を通して、要件定義やテーブル設計等に触れることで上流工程を学ぶ